

# とうおん 議会だより

TOON CITY COUNCIL REPORT

- ② 年頭のあいさつ
- ③～④ 12月定例会  
補正予算・質疑
- ⑤ 決算審査報告
- ⑥～⑪ 一般質問・討論

- ⑫ 議会人事
- ⑬～⑭ 委員会報告（総務産業建設・文教市民福祉）
- ⑮～⑯ 表決結果、議決結果一覧表

2015年  
第36号  
平成27年2月1日発行



雪化粧した石鎚山

年頭のごあいさつ

本年も市民の皆様方の変わらぬご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



議長 山内 孝二



副議長 酒井 克雄

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をご清祥にお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、平素は、市政の推進と市議会活動に対し、温かいご支援と多大なご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。さて、昨年11月の臨時議会で申し合わせ任期の満了に伴う正・副議長選挙の結果、私達兩名が正副議長の重責を担うことになりました。また、各委員会も任期満了により、新たな構成で今後2年間活動していくことになりました。

どうぞよろしくお願いいたします。市民の皆様のご期待と信任に基づき、ふるさと東温市がこれからも発展し続けるように、一丸となって、東温市らしさを活かした地域づくりを果敢に進めていきたいと考えております。我々市議会議員には、市民の声が適切に反映され、行政執行が民主的、公正に行われるよう監視するという大きな役割があります。開かれた議会をめざした取り組みを進めることも求められております。各委員会も新たな顔ぶれとなりました。

新たな気持ちで、皆様の声を真摯にお伺いし、議会からの情報発信と議会改革により一層、積極的に取り組んでまいります。議員個々の考え方はさまざまでも、市民の福祉向上というめざすところは同じです。意見を出し合うことで良い考えが出てきます。活発な議論で市民の期待に応える議会をめざします。議会と執行機関は互いに切磋琢磨しながら、まちづくりの主役は市民の皆様であることを念頭に置き、一層努力してまいりますので、昨年にも増してご支援をお願いいたします。本年が、皆様にとって幸せに満ちた素晴らしい年になりますよう心からお祈りいたします。年頭のご挨拶といたします。

東温市議会議長 山内 孝二

謹賀新年

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。本年もよろしくお祈り申し上げます。

- 佐伯 正夫 伊藤 隆志
山内 孝二 三棟 義博
大西 勉 安井 浩二
近藤千枝美 丸山 稔
酒井 克雄 永井 雅敏
相原真知子 森 真一
渡部 繁夫 山内 数延
丹生谷美雄 松末 博年

◎公職選挙法により年賀状（答礼のための自筆によるもの以外）は禁止されており、議会だより上にて新年のご挨拶とさせていただきます。

12月定例会

平成26年度一般会計総額は151億9,933万円に

一般会計

12月補正予算 1億8,303万円を追加

12月2日から18日まで17日間の会期で12月定例会が開催された。一般会計補正予算1億8,303万円(累計151億9,933万円、前年度同期比6.3%増)など31議案補正予算専決承認1件、補正予算5件、条例制定・改正20件、契約議案1件、請願4件について、慎重に審議した。一般質問においては、7人の議員が鋭い質問を行った。

一般会計補正予算に計上された主な事業

財政調整基金積立金 1億8,000万円
国民健康保険特別会計繰出金
介護保険費
水道事業会計
公営企業職員の児童手当、基礎年金拠出金負担金及び出資金
認定農業者経営改善支援事業
改善センター管理費
農村総合整備モデル事業国庫補助金



改修予定の給食センター設備機器

の返還 970万円
公共下水道特別会計繰出金
国民健康保険特別会計補正予算
介護保険特別会計補正予算
公共下水道特別会計補正予算
水道事業会計補正予算
臨時職員賃金
産休代替臨時職員等の賃金

議案に対する質疑

〔一般会計補正予算〕

問 農村総合整備モデル事業の国庫補助金返還については、新聞でも「970万円を返還」と掲載されていたが、農村環境改善センターへ市社会福祉協議会が入居し、目的外使用であることから国庫補助金を返還する事態が生じている。

議員や監査委員会が以前から指摘し、改善を図るよう求めていたもので、今回の補正予算への計上に至った経緯、検討の内容、監査委員会の見解についてはどのように考えていたのか。

また指摘から5年間経過しているが、遅滞に至った理由、財源が貴重な税金であること等、市民への説明責任の考えも伺いたい。

答 指摘のあった平成20年から、各課で数十回の協議を重ね、数か所の候補地についても検討したが移転には至っていない。また補助金の交付が取り消しとならないよう国、県の担当部局と協議の結果、今回の自主返還となった。

目的外使用や補助金の返還が遅延したことに対し、申し訳なく、責任を感じている。

問 平成16年の合併時から目的外使用が継続しているが、返還金については1年でも10年でも同額となるのか。

答 補助金に関する法律が適用され、使用を開始した時点からの残存価格を返還することになるため、同額となる。

また、返還後その部分は市の普通財産となり、社会福祉協議会が継続して使用できる。

問 使用が適法となった場合、計画中の総合保健福祉センターとの関係は。また、農村環境改善センターの用途を阻害しないか。

答 総合保健福祉センターの建設と並行して、使用箇所について検討したい。なお、研修や講習会等については、中央公民館や既存施設で対応できている。

問 合併時から問題が発生しており、指摘後も議会に報告されるまでの間が長い。執行者と議会は車の両輪であり、もっと早く報告すべきではないか。

答 総合保健福祉センター建設と併せた

検討課題となっていたため、事業開始の遅れ等、報告が遅れたことにご理解を頂きたい。

問 今回、補正予算に臨時財政対策債2,460万円が計上されているが、対象となる事業は何か。また、対策債の残額はいくらか。

答 国の普通交付税の原資を補うもので、一般財源扱いとなるため、対象事業は特定されない。平成25年度末の残額は60億3,000万円となっている。

問 市の借入金に該当すると思うが、充当されるまでの債務期間、利息の処置をどうするのか。

答 20年間で交付税措置される。利息についても同じ扱いとなる。

問 市民から認定農業者になるには、380万円の農業所得を確保することが条件と聞くが、その内容は。

答 新規就農者については、5年間の生産計画を提出してもらっているが、金額は目標であり、必須要件ではない。今後は、現場指導の徹底を図る。

問 川内庭球場は、グラウンドが未整備で、競技が出来ない状態



認定農業者による耕作風景



テニスコートとしての使用が困難な状況にある川内庭球場

平成25年度 決算審査

閉会中の継続審査としていた平成25年度の決算審査を平成26年10月14、15日の2日間、各常任委員会で審査を行った。

総務産業建設委員会での質疑・審査結果

◎一般会計

問 市税の不納欠損額の内訳は。

答 生活困窮121件、死亡72件、転出行方不明190件、倒産・破産15件、営業不振等30件である。繰越分の回収状況は、25%程度の徴収率である。

問 行政改革推進委員会の委員の構成メンバーは。

答 中小零細企業振興円卓会議委員長、商工会長、社会福祉協議会長、税理士、え

ひめーTコラボ、区長会長、アミックインターナショナル、婦人会長、女性団体連絡協議会長、公募による一般市民の合計10人である。

問 緊急雇用創出事業の3事業で新規雇用者が13人であったが、費用対効果が低いのではないのか。

答 この事業は臨時的・一時的な雇用の機会を提供するもので、人数よりも今後継続した雇用に繋がることが重要である。

問 中小零細企業振興円卓会議の内容は。

答 25年度は円卓会議を3回、小委員会も3回開催した。シンポジウムも11月に開催した。円卓会議のメンバーは、愛大総合政策学教授2名、商工会正副会長、中小企業家同友会東温支部長と前幹事長、伊予銀地域経済研究センター主席研

究員、地元企業の社長、農家ウェブサイトの企画制作担当者、伊予銀行の部長、愛媛銀行の公務部調査役、愛媛信用金庫の事業振興部長、愛大医学部の教授、歯科医師で食育推進会議委員の15人で構成され、市内の中小零細企業の振興策を検討している。

問 さくらの湯の入館者数を増やし、入館料をもっと増やす必要があると考えるが。

答 固定客が、高齢化してきたが、一般料金の大人がより多く来館してもらえ、よう宣伝だけでなく、

◎一般会計

問 農村環境改善センターの社会福祉協議会の目的外使用の今後の対応は。

答 現在社会福祉協議会が入っている施設は農林振興課所管

問 子宮頸がん等予防ワクチンの名前がなくなっているのはどうしてか。

答 子宮頸がん、肺炎球菌、ヒブワクチンは25年度から定期接種化されたため予防接種等委託料として一括決算している。

問 クリーンセンターのダイオキシンの測定結果の最大値、下限値、環境基準値は。

# 7議員 市政を問う!! 一般質問



12月定例会

**問** 要介護認定者数と要支援1・2のうち訪問介護・通所介護を受けている人数は何人いるか。特養ホーム待機者のうち要介護度1・2の人数は。今後の高齢化に備え、特養ホームの建設計画はあるか。来年度の介護保険料の引き上げはどうか。

## 介護保険制度の充実と保険料引き下げを



森 眞一 議員

**問** 住宅・商店リフォーム助成制度の実施を求める。住宅リフォーム助成制度は、市民が市内の業者に委託して住宅をリフォームすることを条件

**門田保険年金課長** 要介護認定者は2,206人、うち要支援1・2は617人。このうち訪問介護・通所介護の受給者は286人。特養ホームの待機者は14年1月末で202人が入所を申し込んでいる。県が入所申込者の絞り込みや介護の必要性、介護者の有無などから判断すると、待機者は36人、うち要介護1・2の方は1人。現在、特養ホームの建設は慎重に審議している。

**市職員の賃金、労働条件の改善を** 来年度からの保険料の改定は、現在作業中である。

**池田まちづくり課長** に、市が一定の補助金を助成する制度。商店リフォーム助成制度は商売をしている人が「店舗の改装」や「店舗等で使用する備品の購入」など一定額以上の工事や備品の購入につき、一定の補助をする制度。中小零細業者を支援するためぜひ実施できないか。

**安井総務課長** 4月1日現在で非正規労働者は、月給職員が151人、日給パート職員が238人。うち年収200万円未満の人数は、月給職員76人、日給パート職員は238人全員が200万円以下の収入で働いている。

**大北消防長** 「救急救命士施行規則」が改正され心肺停止前の重傷者に対して新たに「大量出血時の輸液投与」「血糖値測定と発作症例へのブドウ糖の投与」「ビデオ喉頭鏡による気管挿管」が行えることとなり、市民の救命率の向上につながると思われるが、隊員を養成する期間や経費などの対策はどのようになっているのか。

賃金・労働条件の改善を

**問** 本年度の米の買い取り価格は、一等米コシヒカリで4,600円。10年前と比較すると米価は半減、就農者は高齢化し、生産効率の悪い中山間地では耕作放棄の声が多く聞かれる。TPPや米あまりの状況から今後米価の低迷は継続す

## 市の農業振興策は



丹生谷 美雄 議員

**東温市農業振興基金の活用予定は** 農協合併前の平成13年に「魅力ある地域農業の振興

**高須賀市長** 耕作放棄地が拡大し、米価の暴落が拍車を掛けていると認識しており、現制度の見直しを図り、持続可能な支援に努めたい。



規模拡大が期待されている薬草の刈り取り作業

**高須賀市長** 県や学識経験者、土地改良区・農業者、JA等から広く意見を求め、先に申し上げた協議会で検討し、事業化に着手したいと思う。

**救命士のうち、経験年数5年以上の資格者を研修所等に派遣する。期間は30日、経費は1人当たり39万円を予定している。平成27年度から毎年3人を派遣し、拡大された処置の運用は平成29年度を目標としている。**

**新たに追加された救命処置への対応状況は** 「救急救命士施行規則」が改正され心肺停止前の重傷者に対して新たに「大量出血時の輸液投与」「血糖値測定と発作症例へのブドウ糖の投与」「ビデオ喉頭鏡による気管挿管」が行えることとなり、市民の救命率の向上につながると思われるが、隊員を養成する期間や経費などの対策はどのようになっているのか。



松末 博年 議員

## 協働のまちづくりの今後の進め方は

ツクコメント等の導入や、出前講座・生涯学習等の学習機会を提供することにより、協働のまちづくりをめざしている。

今後、特に人口減少が進み地域活性化対策が重要。自治会組織や地域づくり団体やNPO法人との連携促進に加え、中山間集落の活性化を支援できる体制の整備について考えていく。

### 自治区補助金は

24年度公表の施策評価に自治区補助金創設の検討があるがその後の進捗状況は。

### 伊賀総務部長

検討予定だったが、東日本大震災に伴う集会所施設の耐震基準に満たない施設の改修・建替えの補助金の引き上げにより、自治区補助金創設は断念。地方創生事業の地域支援の一環として取り組めるメニュー

### 側面財政課長

審査員・委員会等の委員の一般公募、ワークショップ、パブリ

ーがあれば、積極的に活用したい。

### 地域リーダー育成は

地域の活性化にはリーダーが必要だが市として育成に取り組まないのか。

### 大西副市長

提案趣旨を踏まえ、時代に合わせた検討をしていきたい。

### 今後の自転車施策は

現在愛媛県はサイクリングブーム。重信川右岸の桜並木周遊道や柳原野外活動広場のトイレ整備など自転車利用者の環境・利便性向上施策をとっているが、今後の展開は。

### 高須賀市長

レジャーやレクリエーション、スポーツ等のツールとなり、日常生活のストレス発散、身体運動、コミュニケーションに繋がる一方、観光や地域振興をはじめ、交通手段や環境、健康作りなど多様な相乗効果を期



新自治区設立の検討の進む志津川土地区画整理事業地区

待して県は「自転車新文化」を提唱している。県と6市町が連携した中予マルゴト自転車道の整備に取り組み、来年度は「サイクルイベント」を開催したい。

中予マルゴト自転車道では①ファミリコー스의充実、②安全対策や利用促進として、ブルーラインや路面整備、案内標識の設置などの整備を行う。

市民生活の中で、自転車がどのように活用できるか第2次総合計画に位置付けて自転車の振興施策を研究検討したい。



相原 真知子 議員

## 東温市奨学金制度は継続できるのか

①川内町からの基金の給付状況は。

②交付期間と一人当たりの給付金額及び基金の残高は。

③制度を今後も継続するのか。

### 菅野教育長

①昭和36年8月に旧川内町において、住民の方から100万円の寄附を受けたこと

が始まりで同年9月には川内町議会が奨学金積立金条例が議決され、昭和38年3月に奨学金運用規則を制定し、川内中学校3年生のうち、成績、経済状況等を審査のうえ奨学生を採用し、1人当り月額1,000円を給付する川内町奨学金基金制度が発足した。合併を機に東温市奨学金として名称変更し、重信中学校も対象に加え、毎年2人の奨学生を採用し、現在までに104人に給付を行っている。

③奨学金運用委員会委員の皆様全員から「様々な方法を検討して可能な限り継続していただきたい」との意見があった。教育委員会としては、奨学金運用委員会の意見を参考にし、広報誌、HP等で寄附金を募り基金原資の増強に努め、市独自の奨学金制度を継続したい。

### 坊っちゃん劇場子ども舞台芸術体験サポートシステム後援会の状況は

①サポートシステムを利用して観劇した児童生徒数の平成21年度から25年度までの推移は。

②後援会への会員数の進捗状況は。

③後援会への今後の支援策は。

### 高須賀市長

①21年度の「鶴姫伝説」では、4校、851人の児童生徒が観劇し補助を受けてい



大西 勉 議員

## 一点集中して東温ブランドの確立を

ブランドの捉え方は人によって異なるが、一言でいえば「らしさ」の追求である。

東温市には、さくら湯、ダーツにどぶろく、白猪の滝にそうめん流し等々、知る人ぞ知るだが、どれもブランドとし

てのイメージが定着していない。あまりにも総花的でポイントが絞れていないからだ。エジソンは次のように言っている『生まれつきの能力の問題も無視はできないが、絶え間なく粘り強く努力することこそ何よりも重要な資質であり、成功の要といえる』新たな地域ブランドを構築し、発信することのご見解は。

### 高須賀市長

東温市には、国内外に誇る製品や企業がたくさんあり、愛媛県が平成25年度に策定した「愛媛ものづくり企業「スゴ技」データベースガイドブック」の中に、市内の12業者の製品が掲載されている。それぞれ独自の高い技術力に基づく優れた製品で、雇用の創出と地域の活性化につ



特区認定・丹精込めた【東温市のどぶろく】

ながら重要な東温ブランドである。ブランドは短期間で誕生したものより、長い間の継続した取り組みで誕生したものが、一過性のブームで終わらない魅力や人気が生まれるケースが多くある。行政がブランド育成に取り組む目的は、地域の知名度を高め、地域を活性化するとともに、市民が郷土に誇りを持つことにあると考えている。

### 福祉と民間の社会福祉法人との関わり方

行政と社会福祉協議会との業務的関わり方、どのような仕事を移管・移

る。22年度の「子規」からは、市内全ての小中学校が活用し、1,524人が観劇。23年度の「誓いのコイン」では、1,688人。24年度の「幕末ガール」では、1,507人。25年度の「げんない」では、1,725人が観劇した。②26年度の会員数は、前年度と比べ、わずかな増加にとどまり、来年度からの補助内容については再検討すると聞いている。

③今後もサポートシステム後援会の活動が継続できるよう応援、支援していきたい。



子ども達の未来への支援を

譲及び委託しているのか。

### 水田市民福祉部長

東温市社会福祉協議会へ移管、移譲している業務はなく、6事業、13業務を委託している。

介護予防に取り組む地域支援事業として、食の自立支援やプール使用型運動指導など、6業務ある。

社会福祉協議会が他の社会福祉法人へ移管、移譲、委託している業務はなく複雑多様化するニーズの対応には社会福祉法人それぞれの特徴を生かした連携、協力は重要であり、現在も福祉施設1日体験への協力や障害者とボランティアの交流、各事業所との連絡会の開催、法人内でのイベント、行事への参画など、さまざまな形で連携をした取り組みを行っている。



渡部 繁夫 議員

## 人口減少・少子化対策

**問** 「子ども・子育て支援事業計画」のなかで幼稚園と保育所の指導者の資格は、

**水田市民福祉部長**

子ども・子育て支援新制度において、幼保連携型認定こども園への移行を促進する措置として、制度導入後5年間に限り、一方の資格者がもう一方の資格者取得する時、履修単位の大幅な緩和措置がある。東温市は、職員

が積極的に資格取得を検討、準備中である。今後の新規採用には、子ども・子育て支援新制度の開始に伴う教育・保育の一体的かつ適切な提供が行われるよう対応を考えている。

**問** 少子化による学校等の統廃合は、

**菅野教育長**

6年後の児童数は、大幅に減少する見込みであるが、小規模校・小規模園では、学校と地域が一体となった教育活動を行い、地域の活力の低下を防ぐ大きな役割を果たしているため、現時点での統廃合については検討していない。

**問** 小規模園・小規模校の集団生活は、

**菅野教育長**

小規模の保育所、幼稚園では、大規模園との交流保育を積極的に進めている。小学校は合同で修学旅行や各種行事への



丸山 稔 議員

## 人に優しいまちづくり

**問** 視覚障がい者のための点字ブロックを、公共施設や道路整備に併せて設置すると共に、市役所前の県道にメロディ付き信号機の設置を、

**高須賀市長**

今年度から来年度にかけて行う、愛大医学部東門から伊予鉄道の医学部南口駅までの間の歩道整備や、愛媛医療センター前の市道横河原10号線改良工事に併せ

て必要な箇所への点字ブロックの設置を実施したい。

市役所北西の県道三叉路については、県道を横断される方の安全・安心を確保する観点から、既に道路管理者である中予地方局及び交通規制を所管する愛媛県警へ要望を行っている。愛媛県警では、三叉路部分の歩道拡幅工事に併せて信号機の設置を検討したいとの意向であり、今後、改めてメロディ付き信号機をはじめ、青延長用押しボタン付き信号機など障がい者に配慮した機器の設置を要望していきたい。



整備が待たれる市役所北西三叉路

**安全・安心のまちづくり**  
**問** 登録型避難訓練（シエイクアウト）や各地区での一斉避難訓練等、実践的訓練の必要性への認識は、

**大西副市長**

「シエイクアウト」とは行政機関や防災関係機関をはじめ、学校、幼稚園や保育所、企業、団体、個人などで幅広く誰でも主体的に事前登録し、参加することができ、訓練であり、従来の参加者を訓練会場に集める方式とは違い、地域内の不特定多数の方を対象とした訓練を行うことができ、市民の防災に対する意識啓発の効果が期待できる。今後、実施に向けた検討を進めたい。

**問** 被災者支援システムの導入目処は

**大西副市長**

昨年6月の定例会において、本システムの導入について見解をお伺いした際、「災害時の事務処理が迅速かつ正確に行えるよう検討する」旨の答弁であったが、導入の目処は立ったか。

昨年、東温市情報化研究会でとりまとめた「被災者支援システム導入に関する研究結果報告書」から本システムの導入は、危機管理を円滑に遂行するための情報管理基盤の構築につながるものと判断している。

近い将来発生が予測される南海トラフ巨大地震等に備え、今後、国が示すガイドライン等を考慮に入れ、より効率的な電子システムを用いた台帳整備を検討したい。

参加を行うなど交流を深め、教職員間においては、教育内容や指導方法の情報交換を行い、円滑な指導のもと子供たちが生活の変化に速やかに適応できるように支援を行っている。

**未納対策**

**問** 税金・保険料・水道料の未納対策は、

**伊賀総務部長**

税金の未納者に対し、年4回の納付催告に加え、悪質滞納者には、さらに年1回の納付催告をしている。それでも反応のない未納者には、預貯金、各種保険契約、給与、不動産の差押を行う。高額・悪質滞納者は、愛媛地方税滞納整理機構に徴収移管を行い、家宅捜索も視野に入れた徴収対策に努めている。それぞれ未納者に対する対応方法は異なっており、現在各担当課におい



美しいまちづくり

**問** 環境美化への取り組みは、

**池川市民環境課長**

東温市美しいまちづくりサポーター制度により、道路、河川、花壇等環境美化活動を推進している。県愛ロード制度登録の田窪92会の美化活動を始め、既存の制度仕組みを活用しつつ複合的に充実させて展開していく。

### 反対討論

森 真一

◆水道料金値上げの条例案に反対する。

円安による物価高と消費税の8%への増税で市民のくらしはますます苦しくなっている。このような状況の中で、水道料金を平均約5%値上げするという条例案が出てきた。

3月議会で、議会の議決がなくても水道料金は消費税の引き上げに連動して引き上げられることになった。そのため4月の消費税引き上げですでに、水道料金は3%引き上げられている。安倍政権は消費税増税2%を1年半後に必ず実施すると言っている。そうなるに短期間で水道料金は10%も引き上げになる。このようなことは認めることはできない。

### 賛成討論

佐伯 正夫

◆「東温市水道給水条例の一部改正」に賛成する。

水道事業会計決算では、平成25年度末の累積欠損金が14億4,400万円と、県内では類の無い大きな赤字を抱えており、このまま推移すると、平成30年度には「現金」いわゆる余剰金まで取り崩さざるをえない。

愛大医学部を始め、大口利用施設の節水や、各家庭での節水意識の向上により、水道使用量の増加もなかなか見込めない。水道事業運営委員会の答申も踏まえた今回の水道料金改正案は、若干の負担増とはなるが、適切であると思われるので、可決とした総務産業建設委員会の決定に賛成する。

### 賛成討論

佐伯 正夫

◆自治体非正規雇用・公務員関係労働者の雇用・待遇の抜本改善を求める意見書に関する請願を「不採択」とした総務産業建設委員会の決定に賛成する。

公務員・公共サービスのあり方、公務員のあり方が、国会でもまさに議論されており、国も地方も非常に財政が厳しい中、公務員の待遇を良くすべきという意見は、なかなか理解が得られない。職員募集時も、正規・非正規職員も、その採用条件を見て応募し、採用されているので、全員を同じレベルにするのは問題がある。

また、民間に比べれば条件が恵まれていて公務員を対象にして、本請願の趣旨には、賛成できない。

### 賛成討論

佐伯 正夫

◆住民の安全安心を支える国の公務員・公共サービスの体制の充実を求める請願を「不採択」とした総務産業建設委員会の決定に賛成する。

道州制の問題は、時代の流れであり、車社会、通信網の整備等が進歩し、民間は、世界を相手に戦いをしていく。国においてもスリム化が必要である。国も1000兆円を超える借金をかかえている中では、無駄を省くことは、避けて通れない。出先機関や独立行政法人には整理できるものもある。

自民党も道州制導入に向け国民的合意を得ながら進めるとしており、道州制に反対する必要はなく、国民サービスが低下しないよう配慮しながら進めるべき。

# 議会人事決まる

平成26年11月11日の臨時議会で申し合わせ任期満了に伴い、正・副議長の選挙を行った。

また議長の指名で、各常任、議会運営、特別各委員会の構成を次のとおり決めた。

## 総務産業建設委員会(8人)

- ◎渡部 繁夫 議員
- 松末 博年 議員
- 佐伯 正夫 議員
- 山内 孝二 議員
- 安井 浩二 議員
- 丸山 稔 議員
- 永井 雅敏 議員
- 相原眞知子 議員

## 議会運営委員会(7人)

- ◎佐伯 正夫 議員
- 相原眞知子 議員
- 大西 勉 議員
- 安井 浩二 議員
- 丸山 稔 議員
- 渡部 繁夫 議員
- 山内 数延 議員

## 市街地見直し及び総合保健福祉センター建設検討特別委員会(8人)

- ◎佐伯 正夫 議員
- 松末 博年 議員
- 大西 勉 議員
- 安井 浩二 議員
- 近藤千枝美 議員
- 渡部 繁夫 議員
- 山内 数延 議員
- 丹生谷美雄 議員

## 監査委員

三棟 義博 議員  
を選任

## 文教市民福祉委員会(8人)

- 山内 数延 議員
- 丹生谷美雄 議員
- 伊藤 隆志 議員
- 三棟 義博 議員
- 大西 勉 議員
- 近藤千枝美 議員
- 酒井 克雄 議員
- 森 眞一 議員

## 議会改革特別委員会(10人)

- ◎大西 勉 議員
- 山内 数延 議員
- 佐伯 正夫 議員
- 伊藤 隆志 議員
- 丸山 稔 議員
- 酒井 克雄 議員
- 相原眞知子 議員
- 森 眞一 議員
- 渡部 繁夫 議員
- 丹生谷美雄 議員

## 議会だより編集委員会(10人)

- 山内 孝二 議長
- 丹生谷美雄 議員
- 近藤千枝美 議員
- 佐伯 正夫 議員
- 伊藤 隆志 議員
- 三棟 義博 議員
- 安井 浩二 議員
- 相原眞知子 議員
- 渡部 繁夫 議員
- 松末 博年 議員

## 農業委員

永井 雅敏 議員  
を選任

※◎印は委員長  
○印は副委員長  
●印は発行責任者

# 総務産業建設委員会

## 委員会での審査概要

### ◎一般会計補正予算について

### 問・情報管理費の委託料は。

答・現行の装置は、平成22年に導入し、当初27年度中の更改を予定していたが、国の外部団体である運営主体から、26年度末で、現行の装置の運用を中止するとの通知を受けた。今年度末までに装置の更改を実施しなければ業務に支障が生じることから、1年早く装置を更改する。

### 問・農村総合整備モデル事業国庫補助金返還について、返還金の発生と経過・結果は。

答・社会福祉協議会の目的外使用については、合併時、総合保健福祉センターの建設により、解消される予定であった。しかし、学校等の耐震対策を優先したことにより、10年間使用となったが、その当時、手続きをしていても同額かそれ以上の返還金が発生していると思われる。平成25年1月より、検討・協議していたが、県を通じ国に自主返還するしかないとの結論となった。

今回の補助金の返還により、その部分は、市の普通財産となり引き続き使用できる。解消の手続きが遅れたことについては、

誠に遺憾に思っている。

全員賛成 原案可決



目的外使用となっていた市社会福祉協議会が入居する農村環境改善センター

### ◎平成26年度東温市公共下水道特別会計補正予算

### ◎平成26年度東温市水道事業補正予算

### ◎東温市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

### ◎次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

### ◎東温市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正

### ◎東温市教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正

### ◎東温市職員の給与に関する条例の一部改正

### ◎東温市単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正

### ◎東温市企業立地促進条例の一部改正

### ◎東温市水道給水条例の一部改正

問・水を1m作るための原価は。答・税抜きで、給水原価は、228.9円、供給単価は、145円である。

### ◎自治体非正規雇用・公務員関係労働者の雇用・待遇の抜本改善を求める請願

### ◎住民の安全・安心を支える国の公務・公共サービス体制の充実を求める請願

### ◎「農業改革」の名による農業・農協つぶしをやめ、地域を守る請願書

### ◎集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める意見書の提出を求める請願

以上2件は、継続審査

【委員長 渡部 繁夫】

議案等議員別表決結果、及び議決結果 一覧表 (No.1)

○:賛成 ×:反対 認:認定 可:原案可決 否:否決 承:承認 同:同意 推:推薦 採:採択 不:不採択 継:継続審査 欠:欠席

議員名		松末博年	丹生合美雄	山内数延	渡部繁夫	森眞一	相原眞知子	永井雅敏	酒井克雄	丸山稔	近藤千枝美	安井浩二	大西勉	三棟義博	山内孝二	伊藤隆志	佐伯正夫	議決結果	
平成26年第4回臨時会(11月)																			
議案40	平成25年度東温市水道事業会計資本剰余金の処分及び決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
認定1	平成25年度東温市一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定2	平成25年度東温市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定3	平成25年度東温市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定4	平成25年度東温市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定5	平成25年度東温市ふるさと交流館特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定6	平成25年度東温市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定7	平成25年度東温市農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定8	平成25年度東温市公共下水道特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
議案42	平成26年度東温市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案43	東温市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
議案44	東温市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
意見書4	南海トラフ等大地震が想定されるなか、原発事故が起こらないということが確保されないかぎり伊方原発を再稼働しないよう求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案45	東温市監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
推薦2	東温市農業委員会選任委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推
平成26年第5回定例会(12月)																			
承認3	専決処分 平成26年度東温市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承
議案46	平成26年度東温市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案47	平成26年度東温市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案48	平成26年度東温市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案49	平成26年度東温市公共下水道特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案50	平成26年度東温市水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案51	東温市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案52	次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案53	東温市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案54	東温市教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案55	東温市職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案56	東温市単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案57	東温市教育施設使用料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案58	東温市公民館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案59	東温市川内運動場条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案60	東温市川内庭球場条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案61	東温市川内体育センター条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

# 文教市民福祉委員会

**委員会での審査概要**

◎介護保険特別会計補正予算について

問・介護認定の認定調査方法は、答・調査員が訪問し、本人や家族から聞き取り調査、独居高齢者はケアマネージャーが同席。調査結果と主治医の意見書を参考に一次判定、次に認定審査会の二次判定で決定。

全員賛成 原案可決

◎東温市川内運動場条例の一部改正について

問・料金区分を一時単位に変更する理由は、答・他の使用料の条例改正に共通するが、一時単位区分にすることで多くの人に利用する機会が増す。現在の時間帯区分で生じている使用料格差を解消できる。

また、短時間利用者の使用料負担を軽減できるなどから改正する。

全員賛成 原案可決

◎東温市川内庭球場条例の一部改正について

問・使用できる状態ではない有効利用を検討しては、答・今後、他の用途も含めて検討したい。

全員賛成 原案可決

◎東温市福祉館条例の一部改正について

問・福祉館の和室(畳の間)に座椅子を整備しては、答・前向きに検討する。

全員賛成 原案可決

◎東温市国民健康保険条例の一部改正について

問・出産一時金の内訳を変更する理由は、答・出産の費用の上昇及び、産科医療保障制度掛金の引き下げのため。

全員賛成 原案可決

◎東温市ツインドーム重信条例の一部改正について

問・ツインドームに整備している器具は、答・アリーナ2階に卓球台が4台、アスレチックジムには筋力トレーニング機器9台、エアロバイク5台、ストレッチ機器4台、ランニングマシン3台等を整備している。

全員賛成 原案可決

◎南吉井地区児童館建築主体工事請負契約の締結について

特に施工監理の徹底を希望する。

全員賛成 原案可決

◎平成26年度東温市一般会計補正予算

◎平成26年度東温市国民健康保険特別会計補正予算

◎東温市教育施設使用料条例の一部改正について

◎東温市公民館条例の一部改正について

◎東温市川内体育センター条例の一部改正について

◎東温市老人福祉センター条例の一部改正について

◎東温市滑川生活改善センター条例の一部改正について

以上7件は、

全員賛成 原案可決

【委員長 山内 数延】



平成27年10月に完成予定の南吉井地区児童館



